

西鉄組合新聞

【発行所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共 (この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています)
西鉄労組ホームページ (http://nnr-u.org)▶



1面 2020年度運動方針(案)決定、第10中

1面 7月豪雨ボランティア、派遣中止

1面 九州地連、古賀孝治氏が新委員長に



2面 私鉄総連第87回定期大会、質疑応答

2面 連合福岡 犬塚次長に聞く、被災地の現状

2面 分会トピックス(本社事業・都市開発)



▲兼業部門東京オルグ

組合員からは、運動方針(案)に修正案は出されなかったが、冬期賞与や21春闘への影響を不安視する声が相次いだほか、コロナウイルス感染拡大防止策や定年延長に関する労使協議の動向などについて、質問や意見が出された。

冬期賞与・21春闘に不安の声、相次ぐ

本部は、7月27日から8月17日にかけて、2020年度運動方針(案)・予算(案)に関する職場オルグを実施した。今回は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、参加者数を制限して複数回開催するなどのオルグとなった。

運動方針(案)・予算(案)オルグ実施

8月24日、組合本部において第10回中央委員会を開催し、第155回定期組合員大会で提起する「2020年度運動方針(案)・予算(案)」を決定するなど、すべての議案を満場一致で決定した。

第10回中央委員会

開催日: 8月24日(月) 場所: 組合本部

2020年度運動方針(案)・予算(案)決定



▲会議風景

部門別委員会開催

自動車対策部

8月17日、組合本部で、乗務関係拡大部門別委員会を開催し、分会長・出向班長から8名の委員が出席。一般乗合路線管理委託(篠栗線・大川線)廃止や、「篠栗折り返し場の現地出退勤としての運用」などについて議論し、組合条件および申し入れ事項に対する会社回答について、組合の態度を固めた。委員からは、「路線教習には時間がかかるので、早めの対応を会社に求めていただきたい」といった意見が出された。

鉄道対策部

鉄道対策部は、8月6日・17日、運輸関係部門別委員会を開催し、野田分会長(筑紫乗務)・岡本分会長(柳川乗務)・西川分会長(貝塚)・田中分会長(SS)が出席。私金取り扱い基準改定や、「駅務員短時間配置駅の試験導入および乗務員取扱い変更の試行実施」などについて議論し、会社提案に対する組合条件や申し入れ事項など、組合の態度を固めた。

「令和2年7月豪雨」災害ボランティア派遣中止のお知らせ

7月の第9回中央委員会で、令和2年7月豪雨災害への対応を決定し、ご本人の意思でボランティア活動に参加いただける方を募集するとともに、随時ボランティアセンターと連携をはかり、派遣の準備を進めてきました。

しかしながら、ボランティア派遣が可能であった久留米市災害ボランティアセンターより、ニーズが一定収束したことから、8月5日17時をもって災害ボランティアセンターを閉所し、団体での募集はおこなわないとの連絡がありました。他所・他団体との連携も模索しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止などから、ボランティア派遣については中止することと致します。なお、義援金カンパについては継続して取り組みます。

今回、118名の方からご応募いただいたことに厚く感謝を申し上げますとともに、今後、復興支援の必要がある場合にもご支援ご協力をよろしくお願い致します。

★組合では、連合福岡が実施する「令和2年7月豪雨における緊急カンパ」に協力するため、カンパ金を支出することを第10回中央委員会で決定しました。

九州地連 第76回定期大会

開催日: 8月20日(木)・31日(月) 場所: 朝倉市・西鉄労働会館

書面決議で開催 古賀執行部発足

九州地連は、8月20日、第76回定期大会を、代議員による決議を以て開催し、古賀孝治氏を執行委員長に選出された。

大会ではまず、「定期大会の書面開催」を決議した後、「2020年度運動方針」「2020年度予算」などを審議決定し、一時休会。その後、31日、西鉄労働会館で続開し、「新役員選出」「大会宣言」を決議した。執行委員長には、古賀孝治氏(西鉄)が選任され、新たな執行部のスタートさせた。

なお、議案に対する質疑については、私鉄新聞九州地連版の大会特集号に掲載されている。



▲大会風景

組織外候補 2名推薦決定

来年1月予定の北九州市議選

8月18日、組合本部で、第18回執行委員会を開催し、2021年1月施行予定の北九州市議会議員選挙において、組織外候補として新たに2名の推薦を決定した。組合では、既に推薦決定している「浜口つねひろ」市議(八幡西区、西鉄バス北九州労組出身)などと同様に、支援の取り組みを展開していく。

◆森ゆみ子
選挙区: 小倉南区(新人)
所属: 国民民主党
出身: 基幹労連

◆三宅まゆみ
選挙区: 若松区(現6期)
所属: 国民民主党

出身: 基幹労連

◆第15回執行委員会決定
浜口つねひろ(八幡西区)

※敬称略



▲浜口つねひろ市議

交通政策 ニュース 総連・公共交通支援のための予算拡充を国交省などに要請

私鉄総連は、8月4日、新型コロナウイルス感染症の影響で極めて厳しい経営状況にある私鉄・バス・ハイヤー・タクシー産業に対する事業存続に向けた支援や、地域公共交通の活性化による生活路線維持、要員確保・人材育成、安全輸送の確立に資する予算の拡充を国土交通省などに要請した。要請には、組織内議員である森屋隆参議院議員と、準組織内議員である辻元清美衆議院議員が同行した。



▲要請書を手渡す木村委員長(右から4人目、右端は森屋議員)

要請を受けて、国土交通省の久保田雅晴公共交通・物流政策審議官は、「コロナ禍にあつて公共交通サービスがエッセンシャルサービスとして、現場の皆さんがリスクを抱えていることに感謝する。各交通事業者は感染症の影響で第1四半期の決算は悲惨な状況であった。現在、来年度予算を検討しているが、感染症の影響を充分に考慮したい」と述べた。

※私鉄総連「交通政策ニュース」(2020年8月5日号)より一部抜粋



▲森屋隆議員 Facebook

続報 西鉄労組のみ抜粋 1 私鉄総連第87回定期大会質疑応答

私鉄総連第87回定期大会は書面決議となったため、事前に寄せられていた質疑について、私鉄新聞に回答が掲載された。西鉄労組の代議員が提出した5件の質疑およびその回答は、以下のとおり。(一部抜粋)

〈質疑応答概要〉

2019年度 一般会計剰余金処分について

北島代議員(本部)

感染症の影響で春闘諸行動などが中止・延期となり、支出が減少し剰余金が発生したと思われる。来年の春闘臨時会費についての考え方を聞きたい。

総連執行部

20春闘では一部行事の中止で剰余金が約三百万円増加したが、21春闘について現段階では例年とおりの対応を行う予定。21春闘職場討議案のなかで提案する。



▲大会風景

2020年度 運動方針について

D. 交通政策の取り組みと 業種別対策の課題

山本代議員(本部)

大規模自然災害からの復旧・復興と感染症拡大への対策について、今回の教訓を防災・減災対策に活かすところがあるが、県や市など交通事業者が一体となった防災・減災対策が必要ななか、何が良くなかったのか、また、今後対策としてどのようなものが必要と考えるかをお聞きしたい。

総連執行部

近年の災害は大規模化していることから、地方公共団体が発行しているハザードマップを参考にしながら、対策の見直や避難経路の策定なども含めたマニュアルを労使で作成し、組合員に日頃から周知していくことが重要と考える。

牧野代議員(本部)

要員確保と人材育成の課題として、安全を支える技術職場の技術の継承とあるが、技術職場の要員確保についての取り組みの記載がない。技術職の要員不足の解消のためにどのような取り組みを行えるのか、具体的な内容をお聞きしたい。

総連執行部

技術職場の定員は、作業量によつて増減していくが、鉄軌道の職場実態アンケートにも示されているように、職場組合員が要員不足と感じていることは、絶対的な作業量が増えていると解釈できる。さらに、作業量が増えることで、若年者に対して技術を伝承する時間がなくなると考える。長時間労働は正の観点からも、作業量に応じた要員確保を企業に求める必要がある。

北島代議員(本部)

関連事業について、第86回定期大会の答弁においても関連事業を重要視しており、実態調査や対策を進めていくとの回答を受けている。それをふまれば、業種別対策の課題と取り組みを関連事業についてもあげざるべきである。については、関連事業に関する現在の進捗状況と、具体的に今後どのような形で展開し、運動方針等に記載していくのか。

総連執行部

関連事業に関する取り組みについては、グループ労連の意見交換において、情報共有が可能な場の形成が求められてきたと認識

している。引き続き、連合の部門別連絡会議や交連労協の航空観光部会などに参画し、情報共有に努める。私鉄総連として、主要闘争は、関連事業に関わる組合員を含め、全組合員で取り組むことが大前提であると考えている。また、各種調査結果を参考に、これまで対応しきれなかった関連事業で働く組合員の実態の把握に努め、政策課題の解決についても進めていきたい。

E. 政治・政策・制度の たたかいと取り組み

牧野代議員(本部)

勤務間インターバル制度について、自動車運送者の改善基準告示は8時間となっているが、ほかの職種についてインターバル時間の具体的な数値はあるのか。また、鉄道乗務員は宿泊勤務を行うことがある。その場合の宿泊が勤務間インターバルに該当するのか。

総連執行部

国が、長時間労働の是正に向けて、勤務間インターバル制度の導入を努力規定としていることから、私鉄総連は、19秋闘で「勤務間インターバル制度の導入に向けた協議機関の設置」を掲げた。働き方改革関連法の付帯決議において「次回の見直しにおいて義務化を実現することも目指し」と採択されており、準備を進める必要がある。宿泊勤務については、趣旨を勘案しながら制度化すべきと考えるが、改善基準告示のように国が指針を示した場合は従う必要がある。



▲団結がんばろう

分会トピックス

組合ガイドブック、運動方針(案)学習会開催

本社事業分会



▲学習会風景

本社事業分会では、若手組合員を中心に、組合本部監修の組合ガイドブックおよび2020年度の西鉄労組運動方針(案)の学習

会をおこないました。本年は新型コロナウイルス感染症防止対策の観点より、大々的な集会、活動は自粛せざるを得ませんが、これを機に組合活動に対する知識向上をはかり、より良い活動を継続していきます。

分会長 高鍋 仁

Web会議で 都市開発分会

都市開発分会の業務には、建物の新築や改装計画・実施といった業務があり、設計や施工会社・各種メーカーと大きく関わりを持ちます。そこで大事なのが会議です。しかし、コロナ対策による



▲会議風景

3密回避や他県からの移動制限で、従来のような会議ができなくなり、現在はPCや携帯電話によるWeb会議を多用しています。技術的に音声がかえにくい場合もありますが、映像はクリアなため会議はスムーズにおこなえます。ただ、終了後に懇親会ができないなど、人付き合いという面では距離感ができた気がし

突撃取材 連合福岡 犬塚政策・連帯局長に聞く! ~ボランティア活動を通して見た被災地の現状~

九州各地に甚大な被害をおよぼした令和2年7月豪雨。西鉄労組のボランティア派遣は中止となってしまいましたが、連合福岡がおこなった大牟田地区でのボランティア活動と被災地の現状について、実際に活動に参加した犬塚恵政策・連帯局長(西鉄労組から派遣中)にお話を伺いました。

一 本日はお忙しい中、ありがとうございます。猛暑の中でのボランティア活動、大変お疲れ様でした。今回の派遣では、どのような活動をされたのでしょうか。

犬塚次長 連合は、労働運動の原点である「助けあい・支えあい」を実践し、各地でボランティア活動やカンパ活動をおこない、被災地に寄り添う活動を続けています。今回は、8月に大牟田地区でボランティア活動をおこないました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策でマスクが必須のため、1日に何度もマスクを交換しながらの作業となりました。さらに、休憩のたびに手指を消毒するなど、例年以上に気を遣うボランティア活動でした。

一 被災地の現状は、どうでしたか。

犬塚次長 大牟田地区は浸水被害なので、水が引いてしまえば、パッと見は被害の状況は分かりません。しかし、私が活動したお宅は、被災後全く手つかずの状態、家の中にはあらゆるものが散乱した状態でした。ボランティアセンターによると、被災後、施設や病院から自宅に戻れず、手つかずのままになっている家はまだまだ残っているそうです。とくに、高齢の一人暮らしの方などは、被災したことに呆然とし、片付ける気力を失っている方もいるそうです。今後は、大人数で一気にではなく、少人数で長期的な支援が必要ではないかと思いました。



一 活動に参加されて、いかがでしたか。

犬塚次長 これまでも災害ボランティアに参加してきましたが、日常がなくなってしまうことは、とても辛いことです。その辛い経験から、少しずつ日常を取り戻そうとしている方のお手伝いをすることがボランティアだと思っています。猛暑の中の作業は大変なこともあります。作業前と後では家主の方の表情が全く違います。作業をおこなったことで、少しでも日常を取り戻す気持ちになってもらえればと思います。

一 最後に、組合員の皆様にメッセージをお願いします。

犬塚次長 私は今、連合福岡で、政策・制度の作成やボランティア派遣の手配など、貴重な体験をさせていただいております。その中で私鉄総連の一員としての立場で、私鉄の現状を伝え、政策・制度要求に反映させていきたいと考えています。また、連合ではボランティア活動を始め、さまざまな取り組みもおこなっていますので、一人でも多くの方に連合の取り組みに参加していただき、連合を知ってほしいと思っています。今は先の見えない厳しい状況ではありますが、ともにがんばりましょう。

一 ありがとうございます。犬塚次長のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

組合本部 9月スケジュール

- ◆ 4日(金)…事務局会議
◆ 9日(水)…医療共済幹事会/執行委員会
◆ 10日(木)…中央委員会
◆ 23日(水)…医療共済幹事会
◆ 24日(木)…第155回定期大会

※急遽変更となる場合があります。

ます。コロナ対応を始めて約8ヶ月が経っていますが、利便性を考えるとコロナが落ち着いても利用できるツールになりそうです。

分会長 西尾雄治